

2020年東京オリンピックへの挑戦 —金メダルを目指して—

西九州大学 健康福祉学部
スポーツ健康福祉学科

おおたに もも こ
大谷 桃子 22歳



目次

1. プロフィール
2. 戦歴（健常時）
3. 車いすテニスでの活動
4. テニスのスタイル・特徴
5. 今後の目標
6. お願いしたいご支援
7. 最後に



1. プロフィール

氏名 大谷 桃子

生年月日 1995年8月24日
(現在22歳)

出身 栃木県

身長 162.5cm

血液型 A型

テニス歴 11年

車いすテニス歴 1年



2. 戦歴（健常時）

2011年	関東選抜高校栃木県予選大会	団体	10位
	関東選抜高校大会	団体	10位
2012年	栃木県高校総体関東予選大会	団体	優勝
	栃木県高校総体関東大会	団体	出場
	全国高校総体テニス県予選大会	団体	準優勝
	高校選抜高校大会	団体	出場
2013年	栃木県高校総体関東予選大会	団体	優勝
	栃木県高校総体関東大会	団体	出場
	全国高校総体テニス県予選	団体	準優勝
		個人ダブルス	優勝
	全国高校総体テニス大会	個人ダブルス	出場
	国民体育大会選手選考会		4位



3.車いすテニスでの活動

2016年	7月	兵庫県車いすテニス大会(ITF Futures)で試合デビュー	
	9月	大阪国際車いすテニストーナメント (ITF Futures)	
		シングルス	準優勝
10月	ピースカップ国際/国内交流車いす大会(ITF3)		
	シングルス	準優勝	
11月	全日本車いすテニス選手権		
		準優勝	
2017年	7月	ミッドウエスト チャンピオンシップス(ITF3)	
		シングルス	優勝
	バンクーバー インタナショナル(ITF3)		
		シングルス	優勝
	8月	仙台オープン(ITF Futures)	
シングルス・ダブルス		優勝	
神奈川オープン(ITF Futures)			
	シングルス・ダブルス	優勝	



世界ランキング 22 位
 日本ランキング 3 位
 (2017/10/08 現在)

4. テニスのスタイル・特徴

自分から攻めていくプレー
海外の選手にも負けないパワフルなテニス

サービスからの攻撃

- ・女子の中ではトップの速さと種類が強み。コースと回転を組み合わせて、**9種類**打ち分けることができる。

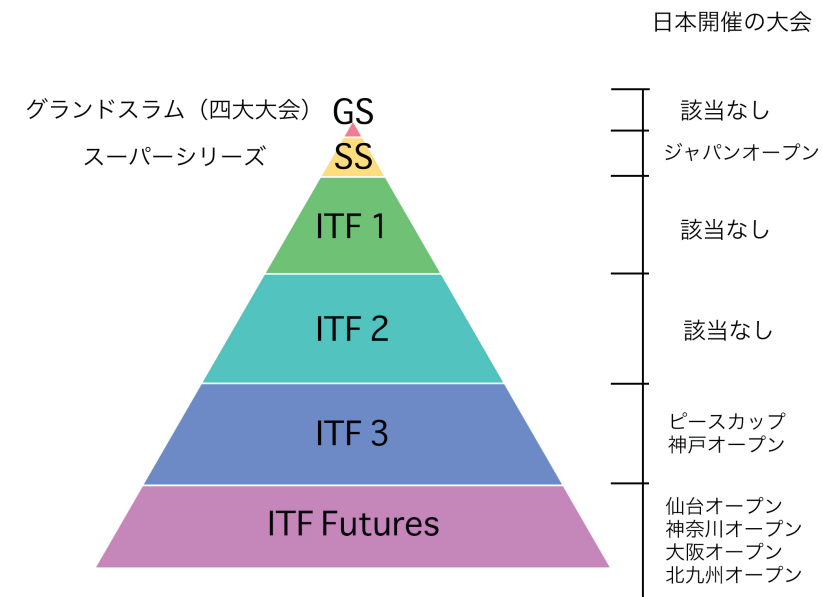
深いフォアハンド

- ・サービスと同じく速さがあり、男子選手との練習で培ったスピンがよくかかり高く跳ねるのが特徴。
- ・車いすテニスは高さのあるボールが取りにくいいため、相手を崩していく有効な手段になる。



5. 今後の目標

- 2017年 ITF*3の車いすテニスツアーでの上位入賞
日本ランキング3位以内に入る
世界ランキング30位以内を目指す
- 2018年 ITF2の車いすテニスツアーでの優勝
日本ランキング1位を取る
世界ランキング10位以内を目指す
- 2019年 ITF1の車いすテニスツアーで優勝する
世界ランキング8位以内を目指す
車いすマスターズ、4大大会で上位に入賞する
- 2020年 飯塚国際車いすテニス大会で優勝する
世界ランキング1位になる
東京パラリンピックに出場、金メダルを取る



※ITF…国際テニス連盟 (International Tennis Federation) の略称。

6. お願いしたいご支援

① チーム大谷の科学的なサポート

※チーム大谷……PT・OT・医者・コーチで構成されるチーム

- ・ 栄養、メンタル、メディカルに関するサポート
- ・ リハビリテーションの指導
- ・ テニスの技術提供

② スポンサー（資金面）

- ・ 国内外に出るための遠征・滞在費
- ・ コーチ料（レッスン・遠征滞在費）
- ・ 上記①の科学的サポートに関わる経費の金銭的な支援

7. 最後に

小学3年生の頃から兄の影響でテニスを始め、中学・高校はテニス漬けの毎日を過ごしました。そして高校3年時には、個人ダブルスで目標としていたインターハイ出場を果たしました。

しかし高校卒業後、体調を崩し入退院を何度も繰り返し、車いすを使わずには生活が満足に送れなくなってしまいました。生活の中心だったテニスもできなくなり、目標も失って引きこもりのような生活をしていました。

そんな私を救ってくれたのもテニスでした。父の勧めで車いすテニスを体験するとすぐ夢中になり、知り合いからテニス用の車いすを譲ってもらってそれを漕ぐ毎日が始まりました。当初は10分と漕ぎ続けられなかった体力も、今では丸1日のタフな練習もこなせるまでになりました。

ここまで来るのには多くの紆余曲折がありました。無駄ではなかったと今なら断言できます。自分のテニスに対する思いも確認できました。また親や友人、コーチ、先生など多くの方の支えがあり選手として生きていく覚悟ができました。

東京オリンピックで金メダルを獲得し、世界で活躍することが私の目標であり夢です。

それに少しでも近づけるようどうぞお力をお貸してください。